

浅井町ふれあいたより

6月号

重点施策 「安全で安心なまちづくりと子どもたちの健全育成」 発行日 平成30年6月1日 発行者 浅井町地域づくり協議会
ホームページ:138azai.org(検索「浅井町地域づくり」) 一宮市浅井町前野字郷西 85 (浅井町出張所)

笑顔いっぱい

一宮市立浅井北小学校 校長 樋野 仁

浅井北小学校では、4月19日(木)に、春の校外学習を行いました。1、2年は138タワー、3年は蘇南公園、4年は浅井・西成消防出張所、5年は薬博物館、6年は河川環境楽園に、徒歩で出かけました。この校外学習には「新しい学級や学年の絆を深める」というねらいがあります。校外学習の出発に、校長から『ありがとう』をたくさん言おうという宿題を出しました。目的地で説明をいただいたときはもちろん、困った場合に助けてもらったとき、長い距離を歩いて疲れたときに励ましてもらったときなど、『ありがとう』を言える場面がたくさんあることに子どもたちは気づいたようです。日頃、友達からやってもらって当たり前のように思えることでも、感謝の気持ちをもって接することで、より相手の思いやりに気づくと思います。こうして「友達との絆」がより深まり、その後の学校生活に生かされ、笑顔いっぱいの学校につながっています。



さて、毎日の生活の中ではどうでしょうか。家庭の中でも当たり前のように過ぎていくことの中に、お互いに支え合っているからこそできるものはたくさんあります。そんなときに、感謝の言葉「ありがとう」の声掛けはできているのでしょうか。まずは、私たち、大人が声を掛け合いましょう。「ありがとう」の言葉は、言った方も、言われた方も、思わず笑顔になれる言葉です。大人が笑顔でいるからこそ、子どもたちは安心して生活でき、優しい心を育むことができると思います。子どもたちが安全で安心して暮らせる地域となるよう、ご協力、ご支援をよろしくお願いいたします。



社会福祉協議会浅井支会評議員会開催

4月26日(木)浅井公民館2階大会議室で「平成30年度社会福祉協議会浅井支会評議員会」が開催されました。連区長の高山幸四郎さんの挨拶のあと、浅井町連区各種協議会、団体の事業計画内容と予算について説明がありました。敬老会、ひとり暮らし老人とのふれあい事業等を実施する「社会福祉協議会浅井支会」、シルバー教養講座、ゲートボール、グラウンド・ゴルフ大会を開催する「高齢者の生きがいと健康づくり推進協議会浅井支部」、そして「浅井町連区交通安全会」、「浅井町資源回収推進協議会」など各種団体が連区住民の福祉を増進するための事業、予算等について審議しました。評議員会の主たる構成員である町会長さんと民生児童委員さんが30年度も連携し協力しあい、各種事業に取り組むことを確認した評議員会となりました。



福永新所長就任あいさつ

4月より、浅井町出張所長として赴任してまいりました福永直人と申します。現在、萩原町に住んでおりますが、1台しかない車を妻が通勤に使用していますので、私は天気の良い日はバイクで、雨の日は電車とバスを乗り継いで出勤しています。萩原町と浅井町は町の雰囲気がとても似ているせいか親近感を覚えます。浅井町にお住いの皆様方に奉仕するための職員として、出張所職員の先頭に立って頑張りますので、皆様方のご指導、ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。



児童育成協議会酒井廣道氏に市長感謝状



4月28日(土)一宮市民会館で「平成30年度一宮市子ども会指導者研修会」が開催され、席上、10年以上にわたり指導者として活躍された7名の方々へ中野市長から感謝状が贈呈されました。浅井町児童育成協議会からは酒井廣道さんが児童育成協議会会長、或いは顧問として長年にわたり、浅井町の子ども会をまとめてこられた功績に対して贈られました。長い間、子ども会活動にご尽力されましたことに深く感謝の意を表します。そして、これからも浅井町児童育成協議会に暖かいご指導を頂ければ幸いです。

「第62回児童福祉大会」開催される

爽やかな風が吹き抜けるG・W最終日の5月6日(日)浅井中小学校運動場にて浅井町連区児童育成協議会主催の「第62回児童福祉大会」が盛大に行われました。児童437名、大人236名、中学生ボランティア36名合計709名が参加しました。

大縄跳び、綱引き、玉入れ、ぱくぱく競争など数多くのゲームがあり、そのお手伝いに浅井中学校1年生ボランティアの皆さんが手際よく動いていました。

大縄跳びは、優勝・・・河田 2位・・・長田 A 3位・・・江森、という結果でした。ゲームを通して、3校の児童が交流の輪を広げ、笑顔いっぱいの児童福祉大会となりました。



(保護者と子どもによる親子宣言)

サロン活動レポート (5)



西浅井ちびっ子広場は、毎朝9時になると、グラウンドゴルフ場に早変わり。ブランコやすべり台にふたつのお社がコースにデーンと立ちふさがります。コース条件の厳しさを逆手にとって、楽しくする工夫がたくさんあります。

西浅井グラウンドゴルフ同好会は、平成19年4月に澤村芳晴さんが長寿会の会長であった時、『何か新しいスポーツを』と始めたものでした。現在、会員24名。スティック片手にさっそうと参加される皆さんからは「きちっと朝起きられるようになったわ」、「規則正しい生活ができるようになったよ」という声が返ってきました。昨年、地域づくり協議会提案事業のサロン活動補助金を活用してスタートマットと旗を8本購入して、益々やる気が高まっています。代表の澤村さんは「どんな人でもできるスポーツです。家に引きこもらず外に出て、私たちと一緒に楽しみましょう。」と町内の皆さんに、一人でも多くの参加を呼びかけています。

という声が返ってきました。昨年、地域づくり協議会提案事業のサロン活動補助金を活用してスタートマットと旗を8本購入して、益々やる気が高まっています。代表の澤村さんは「どんな人でもできるスポーツです。家に引きこもらず外に出て、私たちと一緒に楽しみましょう。」と町内の皆さんに、一人でも多くの参加を呼びかけています。